

平成27年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 49
ID 117002

【施設状況】

グループ名称	篠ノ井こども広場（このゆびとまれ）								
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ				法人番号	6010705002441			
所管課	主	117000	保育・幼稚園課	副					
構成施設	1503	篠ノ井こども広場(このゆびとまれ)							
施設分類	06	保健福祉2型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	建物延べ床面積：552㎡ プレイルーム 1室、飲食ルーム 1室、おひるね室 1室、授乳室 1室、相談室 1室、活動室・会議室 2室 敷地面積：1129.59㎡								
施設設置目的	乳児及び幼児とその親子の子育てに対する悩みや不安を解消し、もってそれらの者の福祉の増進に資するため、子育て支援の拠点施設として設置する。								
基本方針等	指定管理の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、地域に根差した施設となることを目指す。								
主な実施事業	①子育て中の親とこどもの交流に関する事業 ②子育てに関する相談 ③子育てに関する情報提供 ④あそびに関する指導及び助言 ⑤その他子育ての支援に関すること								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ			指定回数	2 回	
指定期間	平成25年4月1日	～	平成30年3月31日	5年	管理運営開始日	平成22年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					4

		利用区分等	単位	H24	H25	H26	H27	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用者数	人	35,647	31,362	34,991	36,576	105%	4
		乳幼児利用者数	人	19,252	16,519	18,324	19,415	106%	
		新規登録乳幼児数	人			1,298	1,515	117%	
		相談件数	件	1,361	1,335	769	1,050	137%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
		(特記事項)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親とこどもの交流に関する事業 ・子育てに関する相談 ・子育てグループ等の育成 ・子育てに関する情報の提供 ・あそびに関する指導及び助言 ・子育て情報誌の発行 ・子育て講座、イベントの開催 ・その他子育て支援に関する業務 			≪未実施≫ ・子育て情報誌の発行 広場内においてはこども広場独自の公園情報や水遊び場所に情報を掲示したが、情報誌として他の場所へ配布するまでには至らなかった。				
	自主事業	・ママの¥0バザー（リサイクル会）を開催。日常は広場玄関に「ゆずり愛BOX」を備えて衣類のお下がりを自由に持って行って貰うが、大型の育児用品のリサイクルもしたいという保護者の声を受けて継続して場所を提供している。			≪追加事業≫ ・郊外へ出での「芋ほり体験」の実施 ・¥0バザーと並行しフードドライブの開催 （広場に出てこれない支援を必要とする方への食料品提供・物資譲渡）				
サービス維持・向上の取組み（広報等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報の提供 ・週刊長野、信濃毎日新聞、子育て情報誌への情報提供。 ・子育て中の保護者が必要とするイベント等を実施し、利用者増につなげている ・施設の清掃、遊具の消毒により感染症予防対策を行っている 								

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	その他	4
	(2) 調査、会議等の内容 ・利用者アンケート…27年3月実施 広場を利用する目的、広場への意見・感想等を記入 108人より回収 ・聞き取り…イベントの後に感想要望を語ってもらい把握 ・利用者の声コーナーの設置		
利用者評価	(3) 調査、会議等の結果 このような施設があって、とても助かっている。¥0バザーを楽しみにしている。 講座中のママのおしゃべりが気になった。¥0バザーは混雑するので整理券を配って欲しい。		4
	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 親子共に交流できる場で嬉しい。安心安全な環境で遊べる。毎日おもちゃを消毒してもらっていて感謝している。11時と3時のふれあいタイムが親子ともども楽しめる。会議室を貸し出してもらえるのが助かる。夏休み等長期の休みに大勢で集まれる場所が無いので重宝している。就園前の子ども同士の交流が出来るのが嬉しい。家にいるだけでは見られない成長が見られる。スタッフが親身になって話を聞いてくれる。駐車場が近くて便利。日曜日に開館している。広場で食事が好きな時に取れる。	
利用者からの評価・苦情等		(2) 苦情・改善等の要望事項 たまにおしゃべりに夢中で子どもを見ない人がいるのが気になる。そういう人の子どもは動きが激しいので（スタッフから）注意して欲しい。休日などに園児も参加できるイベントをしてほしい。開館時間を早めて欲しい。幼稚園に上の子を送った帰りに利用したいのに一旦帰らなければならないと不便。おもちゃの片づけをせずに帰ってしまう人がいて、自分たちが遊ぶ場所の確保のために片づけをするのが納得いかない。広場で一時預かりをしてほしい。	
	≪対応措置≫ 近くにスタッフがいることで保護者の態度が変わるので 就園児の来館の多い日は意識的にフロアでの語らいを多くすると共に、こどもの興味のあるような遊びを提供し、危険回避をする。開館時間は早くできないが 駐車場は9:30過ぎに入庫出来る様にし、花や野菜への水くれ等を手伝ってもらったり、近くの鉄道を見る等の過ごし方の提供をした。園児参加のイベントは施設の持つ特性から離れているため地域の商店街へ企画提案しそちらでおこなってもらうようにした。広場では託児は出来ないが、今後スタッフや広場利用者にファミリーサポートの提供会員となってもらい可能性を見出していく。		

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成27年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成27年度決算		平成26年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	20,016,000	指定管理料	20,016,000		雑（納付金）		雑（納付金）	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			その他		その他	
	その他収入		その他収入	55		国・県補助金	6,114,000	国・県補助金	6,114,000
	計	20,016,000	計	20,016,055		計	6,114,000	計	6,114,000
自主事業	人件費	13,859,000	人件費	12,920,620		指定管理料	20,016,000	指定管理料	20,016,000
	設備管理費	440,000	設備管理費	587,249		委託料		委託料	
損益	備品購入費	100,000	備品購入費	0		需用費		需用費	
	修繕費	200,000	修繕費	354,404		役務費		役務費	
	光熱水費	1,280,000	光熱水費	1,016,940		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	2,126,000	事業費	1,839,840		修繕費		修繕費	
	事務経費		事務経費			工事請負費	129,600	工事請負費	62,640
	本社経費	2,011,000	本社経費	2,086,645		備品購入費		備品購入費	
	その他		その他			その他		その他	
	計	20,016,000	計	18,805,698		計	20,145,600	計	20,078,640
	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
	損益	0		1,210,357	差引		-14,031,600		-13,964,640
	人件費比率【人件費（賃金等）／平成27年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								68.7%
	本社経費が、計画額と実績額で異なる理由		社会保険と雇用保険の事務の代行を他のグループ内事業所に依頼することとなったため、経費が増加した。						

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1) 保育士10人(7) 清掃2人(2) 合計13人(10) 配置規定数の3人の他 来館者の混み合う時間帯は人員を増やし危険回避に努めた。		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	☑	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	防犯、防災対策	☑	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	☑		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価			
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	5			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・地元商工会との連携で篠ノ井軽トラ市へ継続参加し、また、新たに駅前商店会とのイベントを企画し地域活性化に協力をした。地元の市民団体との共催事業「篠ノ井粉もん会」(クッキーサロン)「ママズスタイル」(ママの¥0バザー)を取り入れ、利用者の要望に応えた。イベントにおいてフードドライブ(家庭で余っている食べ物を持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体等に寄付する活動)を開催し、地元の福祉施設へ寄付した。</td> <td><追加連携> 篠ノ井駅前商店会…ちびっこハロウィン、春よ来いフェスタ企画運営手伝い。南条区…資源回収協力。黒木学園…実習生受け入れ。長野清泉短大塚原ゼミ受け入れ。救護施設旭寮、養護施設円福寺愛育園へフードドライブの品物を寄付。フードバンク信州への協力。</td> </tr> </tbody> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	・地元商工会との連携で篠ノ井軽トラ市へ継続参加し、また、新たに駅前商店会とのイベントを企画し地域活性化に協力をした。地元の市民団体との共催事業「篠ノ井粉もん会」(クッキーサロン)「ママズスタイル」(ママの¥0バザー)を取り入れ、利用者の要望に応えた。イベントにおいてフードドライブ(家庭で余っている食べ物を持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体等に寄付する活動)を開催し、地元の福祉施設へ寄付した。
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
・地元商工会との連携で篠ノ井軽トラ市へ継続参加し、また、新たに駅前商店会とのイベントを企画し地域活性化に協力をした。地元の市民団体との共催事業「篠ノ井粉もん会」(クッキーサロン)「ママズスタイル」(ママの¥0バザー)を取り入れ、利用者の要望に応えた。イベントにおいてフードドライブ(家庭で余っている食べ物を持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体等に寄付する活動)を開催し、地元の福祉施設へ寄付した。	<追加連携> 篠ノ井駅前商店会…ちびっこハロウィン、春よ来いフェスタ企画運営手伝い。南条区…資源回収協力。黒木学園…実習生受け入れ。長野清泉短大塚原ゼミ受け入れ。救護施設旭寮、養護施設円福寺愛育園へフードドライブの品物を寄付。フードバンク信州への協力。			

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	4	8	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>----- 基準値</p> <p>76</p>
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	4	8	
危機管理体制	3	12	
地域連携	5	10	
合計得点		76	

評価理由

・施設の利用者数、相談件数、イベント回数が増えて情報提供の工夫よりその効果が現れている。また、管理運営の配置実績も職員数が増えて幼児、乳幼児、父母等の対応にスムーズに行き渡っている。
 ・子ども広場における乳児とその保護者の遊び場及び育児相談、仲間作りの場を提供するだけでなく、子育てサークルへの支援、他組織との連携、相談体制の強化等、利用者が求める事業をスタッフの知識、人脈等により実現させている。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
<ul style="list-style-type: none"> 父親を含めて、家族で参加できる遊びの講座を計画し父親が利用し易い場作りをする。 世代間交流の充実 子育てサークル、グループへの支援。 施設利用者の増加を図る。 広場へ出てこられない保護者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回日曜日に、男性が来館しやすいイベント「おとうさんといっしょ」を行ったところ盛況であり、父親・祖父が一人で子どもを連れて来館する姿が頻繁にみられるようになった。利用者は増加している。高校生や老人グループとの交流も多く取り入れて、子育て支援の輪が広がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広場に出てくることが出来ない家庭に施設を知ってもらうための方法を模索する。SNSや情報誌を利用し、当事者同士のサークルやグループを作る支援をする。

次年度の目標・取組み等
(施設所管課)

広場に出てくることが出来ない保護者への対応として、広場の敷居を低くするために誰でも参加しやすい講座やイベントを計画する(予約が無くても参加でき、興味を引く内容)。また 保護者の困り感を受け止められるようにスタッフの傾聴技術の向上や他団体への連携体制を整える。保健センターでの検診時や新生児訪問の時に施設の案内書を配ってもらえるように依頼をする。地域の回覧板に施設案内や行事予定を挟んでもらったり、広場内に掲示してある情報を紙ベースにして情報誌としていく。

指定管理者自己評価

B

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・初めての来館者や、父親、祖父母などの利用者に対して、広場を使うことへの不安感を無くすため心地良い程度の話しかけを行い、継続利用に繋げている。
- ・継続利用によりスタッフが顔や名前を認知して信頼関係を作り、相談やコーディネートをしやすくしてきた。
- ・大きなイベント時は近隣の方をお願いをして、駐車場を特別に確保して来館しやすくした。
- ・植物、野菜類を窓下に植え、グリーンカーテンとして育てることで夏の暑さ対策と共に子どもたちへの食べ物への興味を育むようにした。
- ・予約せずに参加できるイベントの企画、お父さん対象の企画をし、広場へ来るきっかけの垣根を低くした。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・スタッフが永年勤続の為、通常業務に関してはスムーズに仕事が進んでいる。イベント等の打ち合わせを全員で行うことが難しく、記録や連絡を交わすが漏れも生じてしまうため、責任者を決める等して対応している。
- ・新規登録者が増えていることを踏まえ、案内用の配布物を組んでおいたり、駐車場案内図を多くの目に触れる場所に貼り 利用者自身でも解かる様にした。
- ・印刷物は必ず裏紙まで利用する。
- ・紙類、布類はきちんと分別し地域の資源回収に出して廃棄の費用削減と共に地域協力をしている。
- ・おもちゃ類は空き容器や牛乳パックを使い手作り品だがクオリティの高い安全なものを提供した。
- ・壊れたおもちゃは「おもちゃ病院」で直して頂き丁寧に使い続けている。
- ・コンサート等はスタッフのネットワークと永年の力添えで地域より無償ボランティアさんを募り、パフォーマンスをして頂いている。

③ その他

- ・稲荷山医療福祉センターの子どもたちとの交流をし、広場を利用して頂くことで、どんなお子さんでも利用できることを多くの方に知ってもらう取組ができた。
- ・気になる家庭については速やかに市に報告すると共に、担当地区の保健センターや児童相談所と連絡を取り合い情報提供をした。
- ・教育機関との連携については、篠ノ井俊英高校2年生保育専攻21名（男子学生11名を含む）が乳幼児と保護者とのふれあいを通じ、自分たちの未来について考えるきっかけ作りを提案した。その後、地域のイベントにもボランティアで参加する子が出てくるなど積極的な繋がりが生まれている。
- ・生活困窮者施設や養護施設など、今まで関りの無かった施設とのつながりの中で、子育て支援を必要としている広場に出来ない人たちへの支援の方法として、家庭に余っている育児用品の譲与や粉ミルクやベビーフードの寄付は有効であることが分かり、積極的に実践してきた結果、その取り組みが地域にも着実に広がり始めている。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・利用者数は増加しており、乳幼児数が保護者数よりも上回ることから一人の保護者が複数の乳幼児を連れての来館が多いことがわかる。複数の子どもを見ることの大変さを考えると広場内でもお子守のボランティアや 利用者同士が助け合うことの必要性を感じる。今後は、市民を対象としたボランティア養成の講座や利用者同士のグループ作りを促すプログラム等が必要となり、予算的な面も含めて検討が必要と感じている。
- ・駐車場を常時50台分確保しているにも関わらず、雨の日、猛暑日など、何もイベントが無くても同時刻に利用が集中してしまい、他の駐車場の確保も含めて、許容範囲を超える利用者への対応について検討が必要と感じている。
- ・休祝日や夏休み等は、3歳以上の就園児の多数利用があり、広場内の安全の確保に追われる。施設特性から考えると3歳以上児を受け入れるには無理があることは解かっているが、利用者が3歳以下の乳幼児と一緒に連れてくる場合の支援場所としてどのように対処していくかが課題。
- ・長野市全ての地域からの利用や里帰り出産のためなど長野市外からの利用が多くあることから、地域に留まらない開かれた子育て支援の在り方も検討すべき課題。
- ・開館閉館時間に合わせた条件に合う職員（保育士等の有資格者）の採用に苦慮している。（子育て中の人は 夕方6：30までの勤務が困難なため）

(3) 次年度以降の取組み

- ・長野市南部（犀川の南側）に一時預かりや託児所、ファミリーサポートの提供会員が少ないこと、また慣れている場所での託児を望まれている方が多いことから、広場職員や利用者ファミリーサポートのような一時預かりの会員になってもらい広場での短時間の託児を受け入れられるようなシステムづくりを目指す。
- ・地域のイベントに広場を利用している乳幼児も参加できるような企画を提案し、地域活性化の後押しをする。また利用者の才能を活かし、就労に繋がるきっかけとして地域でのイベント等に活躍の場を広げていく。
- ・広場内でもボランティアを募り、小さな子どもでもお手伝いを楽しんで出来るような機会を増やす。
- ・広場利用者の多くが初めてのお子さんだったり、転勤族で 長野という土地柄や頼る所を知らないという様子が見られるので情報提供する機会を作ったり、サークル結成を手伝っていく。
- ・父親参加のイベントを拡大し、父親サークルのような横のつながりを育むきっかけ作りをする。
- ・未来の親になる子どもたち（高校生や大学生）や初産婦さんなどが乳幼児と触れ合ったり、保護者と語り合う時間と場所の提供をすることに取組み、妊娠からの継続支援の出来る場所を目指す。
- ・子ども・子育て支援法の施行に伴い、広場における利用者支援を充実させ、困難を抱える子育て家庭のニーズ（孤立した育児や虐待予防など）の把握に努められるよう、職員体制の構築並びに研修の充実、さらにインフォーマルな地域における連携・協同の体制づくりに努めていく。

【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る